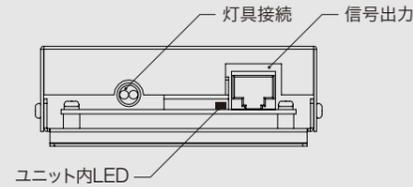


こんなときは

トキラックスEVO KTおよび制御器具が正しく接続されているにもかかわらず、不点灯となってしまった場合、トキラックスEVO KT用制御ユニットまたは増設ユニットの過電流保護回路が作動して停止していることがあります。ユニット内部LEDが点灯しているかどうか確認いただき、赤点灯していれば、負荷側配線が短絡している可能性があるため問題ないことを確認してから、電源を再投入してください。



取扱説明書

LC-EVOKT-SLV

トキラックスEVO KT用制御ユニット

トキスター製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品を安全にご利用いただくため、取り付け前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
なお、取扱説明書は必ず保存してください。

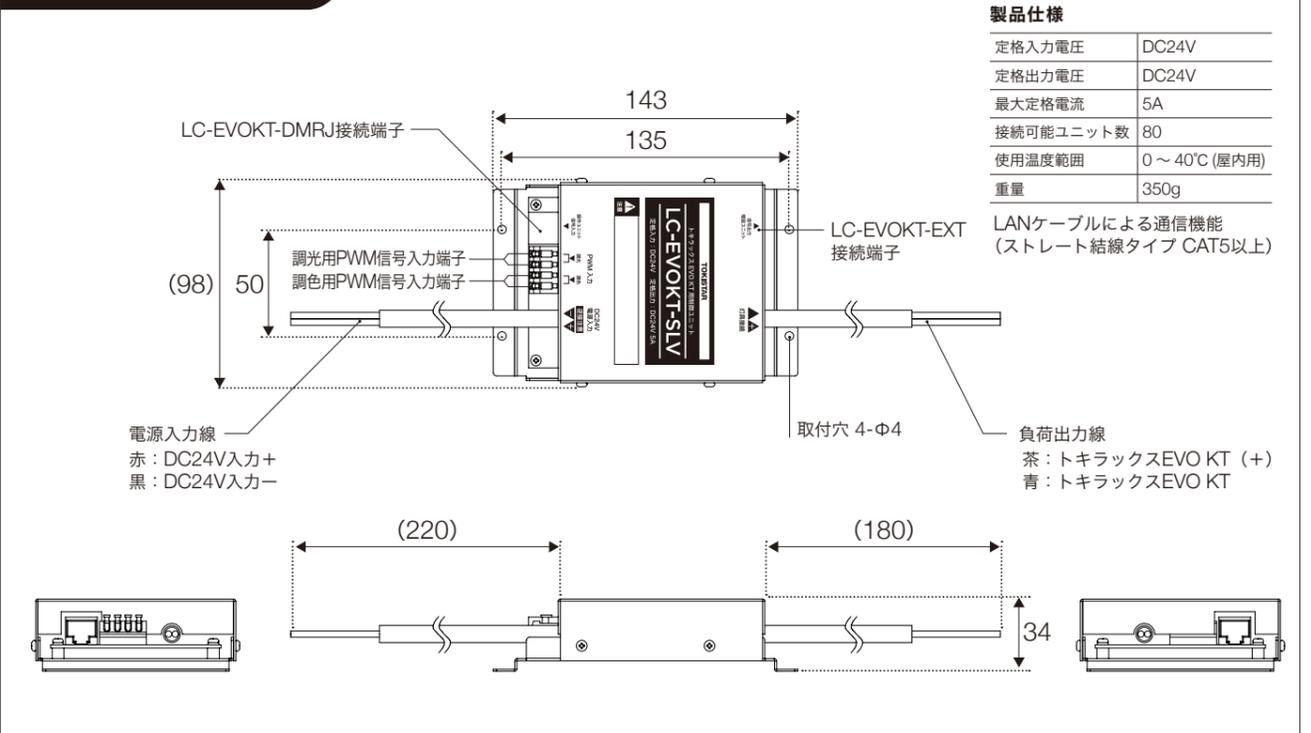


注意

本製品はトキラックスEVO KT専用の電流制御ユニットです。トキラックスEVO KTの点灯には本製品の他に、LED用直流電源と、トキラックスEVO KT用操作ユニットまたは蛍光灯用PWM調光器が必要となります。本機単体で使用することはできませんのでご注意ください。

製品仕様

単位：mm



ご使用前にお読みください

- ・出荷案内書の記載内容と商品の種類および数量が正しいことをご確認ください。
- ・出荷時には慎重に梱包しておりますが、開封した時に万一製品が破損していた場合はすぐにお知らせください。



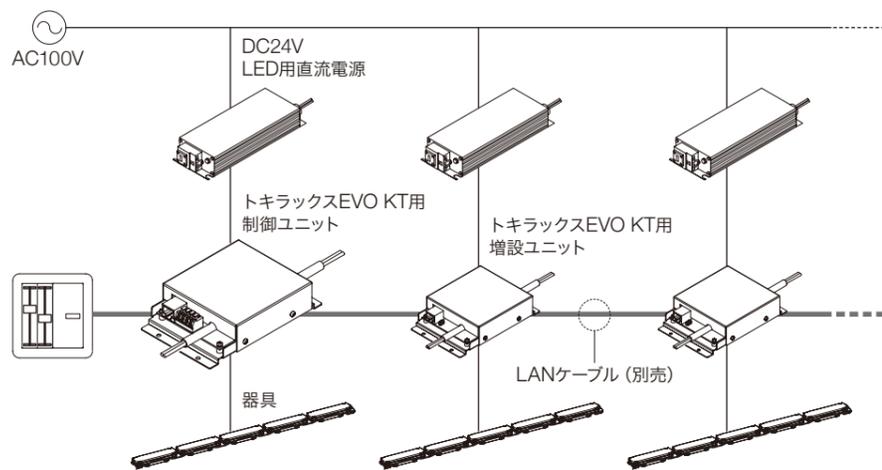
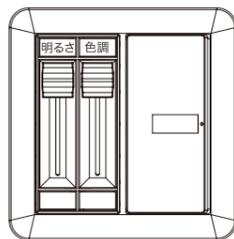
注意

- ・配線工事は、必ず工事店又は有資格者に依頼してください。(一般の方の電気工事は法律で禁止されています)
- ・指定のケーブルをご使用下さい。細いケーブルでの接続や不完全な接続は発熱して危険です。
- ・配線した後は、高圧のかかる絶縁測定器などで絶縁チェックを行わないでください。
- ・本製品は屋内専用です。水のかかる場所、湿度の多い(結露する)場所には設置しないでください。
- ・風通しがよく、放熱スペースが十分設けられる、周囲温度0～40℃の場所に設置してください。
- ・本製品は低電圧のLED照明器具用です。他の該当しない器具には使用しないでください。
- ・分解、改造は行わないでください。製品保証の対象外となります。
- ・ケースを開いたり、内部に手を触れたりしないでください。
- ・本製品についた汚れは、中性洗剤を軽く含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーなどは使用しないでください。
- ・パソコン等、指定以外の機器と接続しないでください。

トキラックスEVO KT用操作ユニットを使用する場合

専用のトキラックスEVO KT用操作ユニットは、LANケーブルで簡単に接続できます。トキラックスEVO KT用操作ユニットと、本機の信号入力端子 (LANケーブル側) をストレート結線ケーブルで接続します。

LC-EVOKT-DMRJ

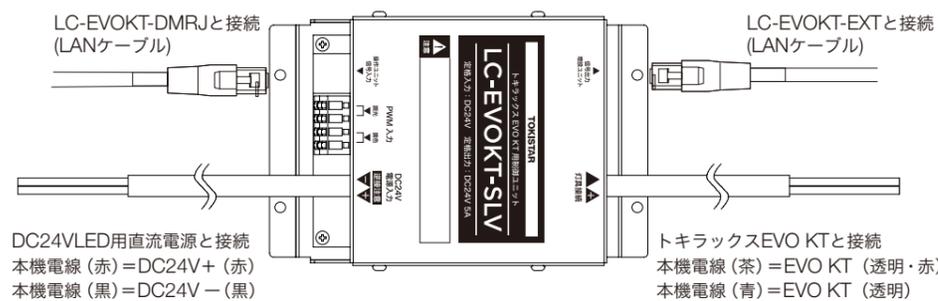


電源入力

本機はDC24V専用です。電源入力線 (赤・黒) にDC24VのLED用直流電源を接続してください。電源の電線色 (DC24V+/赤・DC24V-/黒) と本機の電源入力線の電線色を必ず合わせて接続してください。

トキラックスEVO KTとの接続

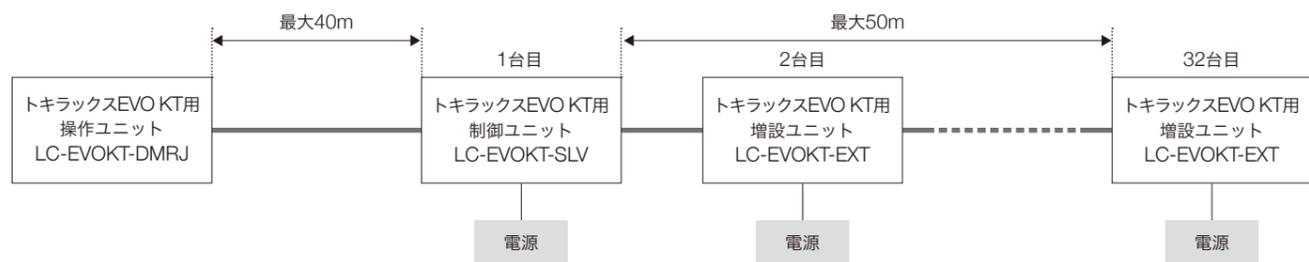
本機の灯具接続線 (茶・青) にトキラックスEVO KTを接続します。電線色 (茶) はEVO KTの電線色 (透明・赤)、電線色 (青) はEVO KTの電線色 (透明) に接続します。逆に接続すると、色調の変化が正しく行われません。信号出力端子は、増設ユニットとの接続用です。



複数台の電源を制御する

- ・トキラックスEVO KT用制御ユニットで点灯できるトキラックスEVO KTは最大80ユニットとなります。81ユニット以上を点灯する場合には、トキラックスEVO KT用増設ユニットを使用します。
- ・1台目となるトキラックスEVO KT用制御ユニットとトキラックスEVO KT用操作ユニットの信号線の距離は40m以内としてください。

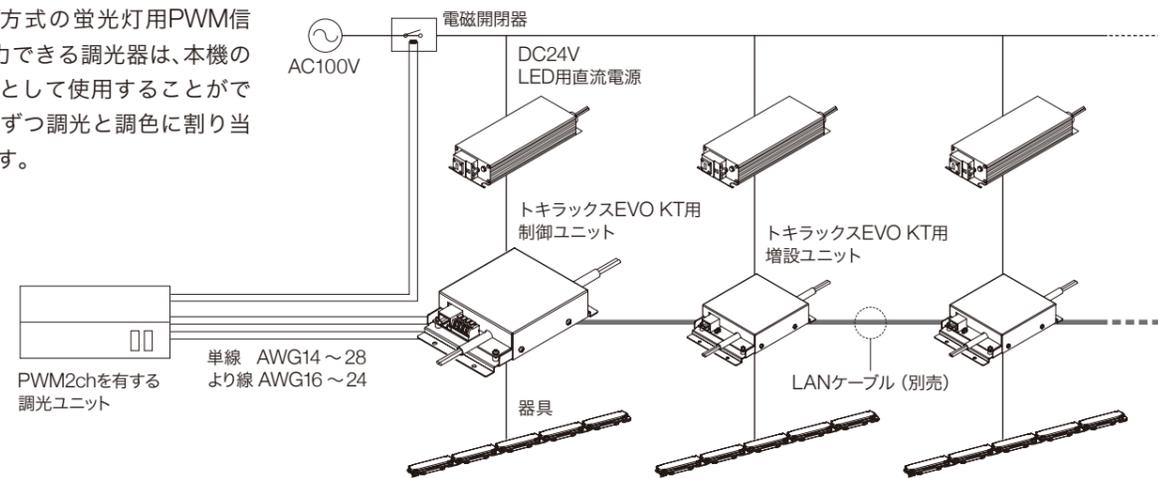
- ・複数台連結する場合には、トキラックスEVO KT用増設ユニットの信号出力端子を使い同様にLANケーブルで送り接続ができます。
- ・連結できる台数は、電圧降下の影響で、ケーブルの合計長さによって決まります。トキラックスEVO KT用制御ユニットから末端のトキラックスEVO KT用増設ユニットまでのLANケーブルの合計距離が50m以下の場合、最大32台まで連結が可能です。



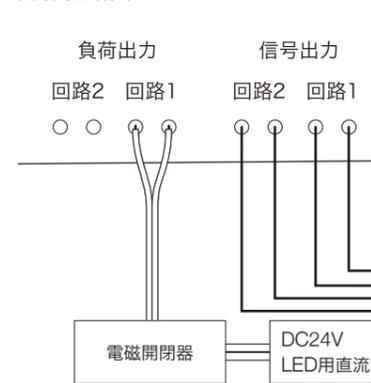
- ⊗ 電源入力線と、灯具接続を逆接すると、接続した機器および接続した照明器具が破損するおそれがあります。
- ⊗ 接続可能ユニット数以上のトキラックスEVO KTを接続しないでください。

市販の蛍光灯用PWM調光器を使用する場合

市販のPC/Hf方式の蛍光灯用PWM信号を2回路出力できる調光器は、本機の操作ユニットとして使用することができます。1回路ずつ調光と調色に割り当てて操作します。

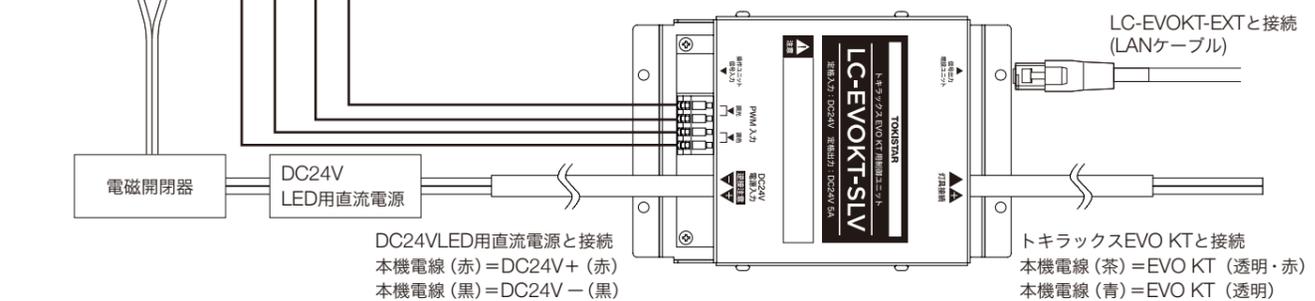


回路1を調光回路、回路2を調色回路とした配線概略図



電源入力

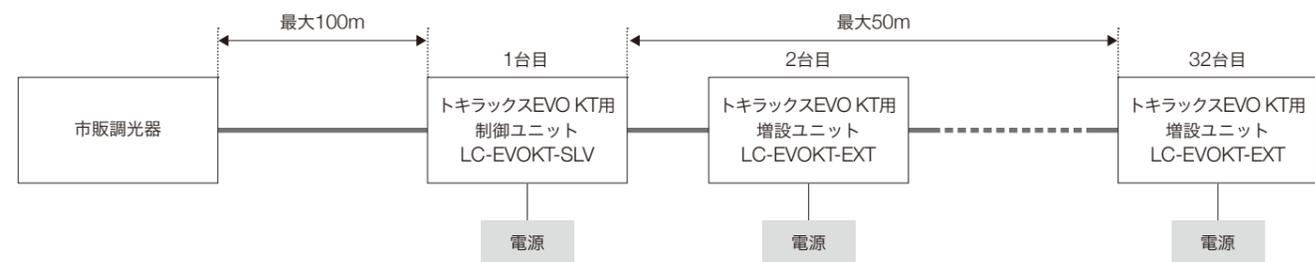
本機はDC24V専用です。電源入力線 (赤・黒) にDC24VのLED用直流電源を接続してください。電源の電線色 (DC24V+/赤・DC24V-/黒) と本機の電源入力線の電線色を必ず合わせて接続してください。調光器の出力容量には制限がありますので、電磁閉閉器を利用したLED用直流電源を接続を推奨します。調光器のスイッチで電源を連動させる場合には、調光回路側の負荷出力にLED用直流電源を接続してください。



複数台の電源を制御する

- ・トキラックスEVO KT用制御ユニットで点灯できるトキラックスEVO KTは最大80ユニットとなります。81ユニット以上を点灯する場合には、トキラックスEVO KT用増設ユニットを使用します。
- ・本機の信号出力端子と、トキラックスEVO KT用増設ユニットの信号入力端子をストレート結線ケーブルで接続してください。トキラックス制御ユニットと市販調光器の信号線の距離は100m以内としてください。

- ・複数台連結する場合には、トキラックスEVO KT用増設ユニットの信号出力端子を使い同様にLANケーブルで送り接続ができます。
- ・連結できる台数は、電圧降下の影響で、ケーブルの合計長さによって決まります。トキラックスEVO KT用制御ユニットから末端のトキラックスEVO KT用増設ユニットまでのLANケーブルの合計距離が50m以下の場合、最大32台まで連結が可能です。



- ⊗ 電源入力線と、灯具接続を逆接すると、接続した機器および接続した照明器具が破損するおそれがあります。
- ⊗ 接続可能ユニット数以上のトキラックスEVO KTを接続しないでください。